

日時 : 2014年10月24日(金) 13:00 ~ 17:00

場所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 分科会長: 窪井要((有)久保井塗装工業所)、
副分科会長: 内山貴織(東和酵素(株))、高橋大(株三王)、
河本謙一(株小泉塗装工業所)、魚谷英未(株アースクリーンテクノ)、岡田久佳(株岡久)、
幹事: 平野克己(日本塗装機械工業会)、
アドバイザー: 田村吉宣(いすゞ自動車(株))
ゲスト: 藤井俊治(株三菱化学テクノリサーチ)、新井俊広(埼玉県環境部大気環境課)、
杉田和也(九州工業塗装協同組合 (株)スギタ)、望月徳三(東京ガスケミカル(株))、
高畑和幸((有)シーティータカハタ)、石井信行、高橋善之(大塚刷毛製造(株))、
吉野和彦(株明治機械製作所)、田辺直((有)田辺塗工所・愛車館タナベ(有))、
片山眞司(J&Sエンジニアリング(株))、鬼頭浩二(旭エレクトロニクス(株))、
毛利昌康(株デライト)、吉田英夫、須山泰敬(株ワイピーシステム)、
西野寿宏(株塗料界展望社)
事務局: 藤井(塗料報知新聞社)

24名 敬称略

***** 議題 *****

—冒頭、日本塗装技術協会 菊田氏より10月31日(金)開催予定の第5回「塗装入門講座」の案内があった。

1. 分科会長挨拶

昨日CEMAシンポジウムが終わったばかりでその速報と、引き続き来月には九州セミナーがあります。今日はそれらの話を中心にホームページ開設の件やワイピーシステム様からの発表もあります。みなさんよろしくお願ひします。

最初にCEMAとIPCOとの関係性を明確にするためCEMAの会議で決定したことを平野さんからお話ししていただきます。

平野

IPCOの前身である工業塗装高度化協議会は、VOC削減をきっかけにスタート。CEMAとしては塗装機械・設備の技術的なフォローが多いものと判断し技術部会が対応してきた。しかしここに来てVOC削減に関しては一段落し、IPCOの現在の活動にはCEMA側はものづくり協議会が対応するのが妥当と判断し今後はものづくり協議会が対応し、技術的な部分が必要な場合は塗装技術委員会が対応することとした。

2. 初参加者挨拶

大塚刷毛製造(株) 高橋善之課長
(株)スギタ 杉田和也社長(九州工業塗装協同組合)
(株)明治機械製作所 吉野和彦氏

3. 議題

①CEMAシンポジウム速報(平野)

昨日、東京塗料会館と大阪塗料会館で同時開催した。大阪は満席、東京もほぼ満席で、合計144名の申込みがあった。東京と大阪の同時開催とともに新たな試みとして各団体から講師を派遣して頂いた。日本塗料工業会から奴間常務理事、CEMA からタクボエンジニアリング、パウダー協から三王、表面技術協会から旭金属、IPCO から3社、工塗連から坂井先生。

(今日参加のメンバー(三王高橋、デライト毛利、東京ガスケミカル望月)から発表内容について説明があった。)アンケートはこれから集計。大きな問題点はなかった。好意的な意見が多い。

今回は東京と大阪での2元中継だったが、今後は名古屋、九州、北海道とも中継で同時開催をしていきたい。

②九州セミナー進捗(内山)

日本海セミナーと同じような形で開催したいとの要望。11月21日(金)に講演、11月22日(土)に実演。1日目の定員は60名、2日目は30名。九州工塗協事務局で集客中。

実演できる場所と講演できる場所の2か所が必要でなかなか会場探しが難しい。

講演内容について、「CFRPについても少し触れたい」(片山)

実演について、旭サナック、明治機械製作所、アネスト岩田、3社の塗装機の実演体験。

新静電塗装のデモについては田村氏が大気社に確認中。三王のチョコナ、コナルショットも展示予定。

日本海セミナーの時には、「ライン診断をやってもらえないか?」との反響があった。

③プレゼン: CBC処理のご紹介

ワイピーシステム(株)は埼玉県所沢市に本社があり、鍍金表面処理のほか車載用消火具を製造販売。CBC処理は2014経産省GNT(グローバルニッチトップ)表彰受賞。

カラーCBC処理は、めっき(防錆膜)領域の長所(薄膜、金属膜で酸素透過なし)と塗装(防食膜)領域の長所(金属電位腐食なし)両方の長所を併せ持った塗膜。

酸素透過と電位差腐食が極小。その上耐熱、耐食、耐摩耗、耐薬品など任意の機能性を付与することが可能。大手建材メーカーにCASS試験を依頼。48時間で問題無し。CBC処理のカラー化により用途の可能性が広がると期待。塗装会社とコラボレートして展開することはできないだろうか?

④継続テーマ進捗: 田辺塗工所 泡ブース

平成26年度サポイン取得、テーマ名は「VOC排出量削減と塗装コスト削減を同時に実現する『泡と微生物を利用したVOC高効率捕集・高分解塗装ブース』の開発」。IPCOから窪井氏に続き2例目。4月にこの会での発表時で課題だった消泡については、新潟工科大学の協力で解決。従来のブースに比し排気ファンは小さくできる。実用化に向け課題を一つ一つ解決していく。

⑤IPCO HPについて(高橋)

今のところ、お見せできる内容はないが、基本的に今CEMAのHPに間借りしているものをIPCOの独自ドメインを取得し移管。サーバーは三王の借りているレンタルサーバーの一部を使う。デザインは窪井氏に依頼。HP中にパスワードを掛けることが出来るので会員専用ページを作ることも可能となる。これを機に外部へIPCOという組織の存在をわかりやすく説明、しっかりとした組織化も必要となるのでは? 次回までにこれらの点を含めHPの内容をある程度お見せできるようにしたい。

※次回分科会開催予定

第8回環境技術分科会 2014年12月18日(木) 13時 ~ 17時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————